



議会だより

第

95号

群馬県昭和村議会

令和元年10月15日 9月定例会



Contents

2～3 平成30年度決算認定

4～5 9月定例会

10～15 村の姿勢を問う

17 みんなの声

子育て保育園運動会

別委員会を設置

9月5日、6日、11日の3日間で審査を行いました。

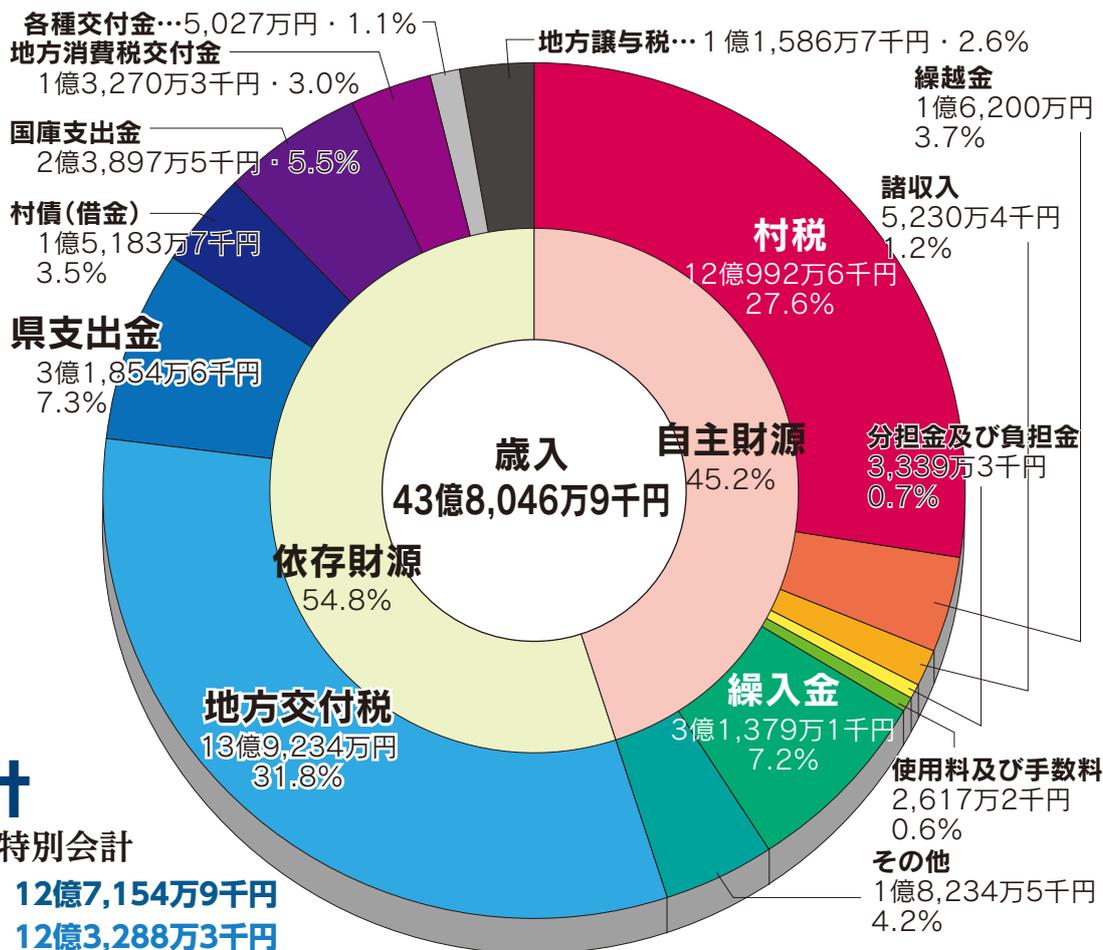
一般会計

歳入総額

43億8,046万9千円

(前年度比36.7%減)

歳入



特別会計

国民健康保険特別会計

歳入総額 **12億7,154万9千円**

歳出総額 **12億3,288万3千円**

簡易水道事業特別会計

歳入総額 **1億7,654万9千円**

歳出総額 **1億5,809万9千円**

農業集落排水事業特別会計

歳入総額 **3億1,952万7千円**

歳出総額 **3億3,577万7千円**

介護保険特別会計

歳入総額 **8億3,789万円**

歳出総額 **8億1,681万1千円**

後期高齢者医療特別会計

歳入総額 **8,398万7千円**

歳出総額 **8,124万円**

財政運営の状況

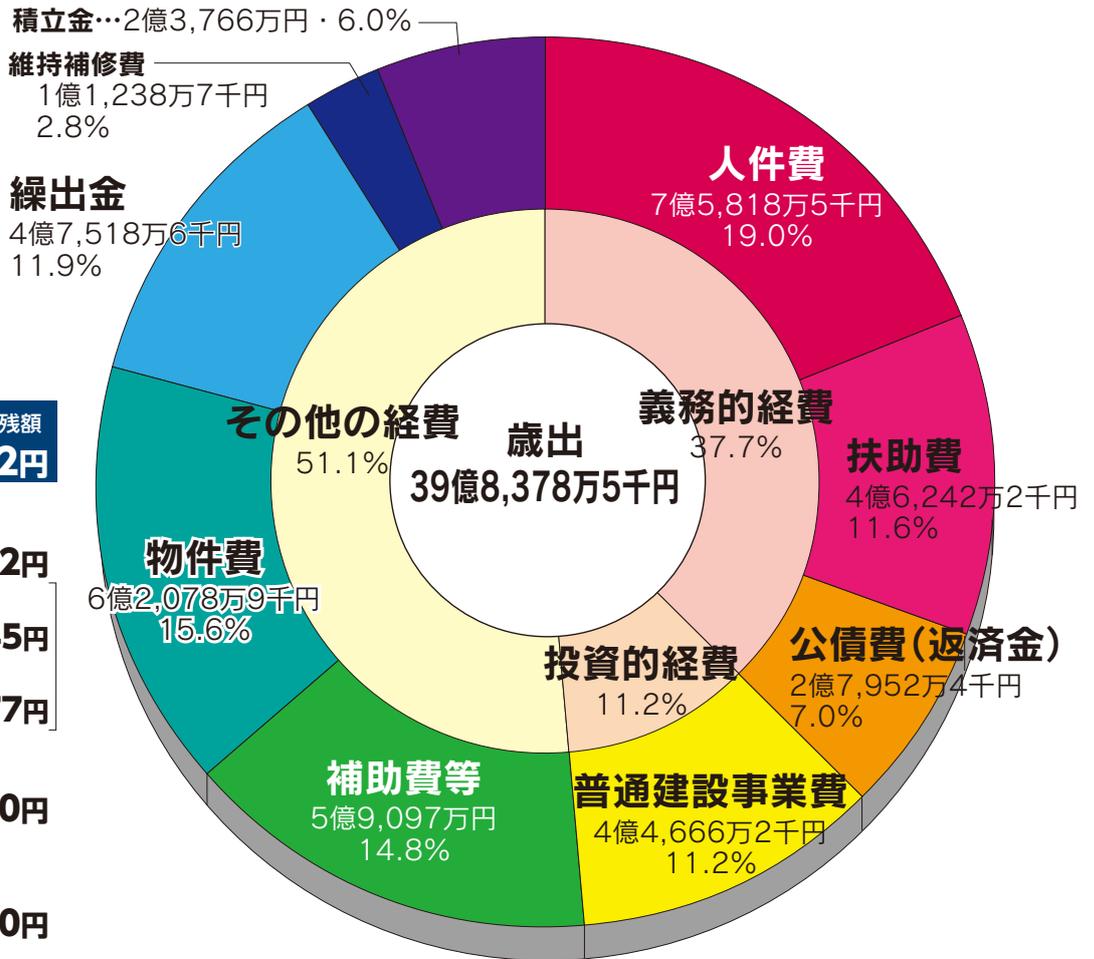
(単位：%)

	28年度	29年度	30年度
財政力指数 地方公共団体の財政力の強弱を示す指数。1に近い(あるいは1を超える)ほど財政に余裕があるとされる。	0.416	0.423	0.440
経常収支比率 経常的な一般財源がどの程度経常的な経費に充てられているかを示す指数。数値が高いほど財政が硬直化し、70%~80%の範囲が望ましいとされている。	86.3	87.3	88.6
公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費の比率。公債費は義務的経費であり、10%を超えないことが望ましいとされている。	1.6	2.1	2.3
実質公債費比率 一般財源の標準的な規模に占める公債費のほか、公営企業会計や一部事務組合が負担する公債費、債務負担行為などを加味した比率。	5.2	5.0	5.6

決算 初めての決算審査特

歳出

一般会計 歳出総額 **39億8,378万5千円**
(前年度比39.2%減)



一般会計 歳入・歳出差引残額 **396,684,522円**

- ・うち基金繰入金 **212,377,522円**
 財政調整基金へ **193,258,645円**
 学校校舎建築基金へ **19,118,877円**
- ・繰越明許費繰越額 **14,307,000円**
- ・翌年度への繰越額 **170,000,000円**

決算審査行われる

8月16日、19日、20日

審査結果の総括的意見

代表監査委員 **金井 正夫氏**
 監査委員 **加藤 生氏**

平成30年度昭和村一般会計及び特別会計歳入・歳出決算書、事項別明細書、財産に関する調書及び各種基金の運用状況を示す書類等について審査を実施した。

その結果、決算書並びに事項別明細書等は、ともに関係法令に準拠し、かつ、前会計年度と同一の基準に従って作成されており、計数も関係書類と符合し正確であり、決算内容も適正であると認めた。

また、収支状況、基金及び地方債残高が示すとおり、財政運営は健全であり、予算執行状況についても適正であると認めた。

今後も歳入面では、村税などの自主財源の確保に努め、有効な補助金等の活用を図り、歳出面では、引き続き効率的、かつ効果的な財政運営を目指した行財政改革を推進するとともに、

事業の必要性や効果について評価をし、限られた財源を有効に活用する中で、より一層の村民サービスの向上を図るよう要望する。



3日間にわたり行われた決算審査

9月定例会

今定例会は、9月4日から13日までの10日間の会期で開催されました。承認1件、議案11件、認定6件、報告2件の計20件が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問では6人の議員が村政の課題について村当局の答弁を求めました。

承認(専決処分)

令和元年度一般会計補正予算(第2号)

総額 1億7200万円を増額

42億5735万2千円
豪雨による土砂災害で破損した鳥獣害防止フェンスの修繕及び道路の復旧工事による増額。

条例改正

昭和村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定

非常勤職員等の適正な任用確保を目的とした、会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、会計年度任用職員の勤務条件を規定するための条例を制定。

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定

会計年度任用職員制度が創設されることに伴い、関係する条例の一部改正を一括で行うための条例を制定。

特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

選挙執行に係る特別職等の報酬額を引き上げる改正。

昭和村職員の給与に関する条例の一部改正

地方公務員法の改正により、成年被後見人又は被保佐人が欠格条項から除かれ、職員が成年被後見人等に該当するに至った場合に、当然に失職することがなくなったことを踏まえ、期末手当等の支給に際し、失職要件の内容を変更する改正。

昭和の森の設置及び管理に関する条例の一部改正

令和元年10月1日の消費税10%への増税に伴い、昭和の森多目的広場の料金を改定。

昭和村印鑑条例の一部改正

令和元年11月5日以降、氏の変更があった者は住民票に旧氏の記載を求めることが可能となり、総務省が示す印鑑登録証明事務処理要領が改正されたことに伴

う、旧氏を使用した印鑑登録を可能とする改正。

補正予算

令和元年度一般会計補正予算(第3号)

総額 9673万1千円を増額

43億5408万3千円
学校通学路への防犯カメラ設置工事費、村道柏坂ノ上柏坂ノ下2号線道路維持工事費などに伴う増額等。

令和元年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

総額 973万3千円を増額

1億5270万6千円
東部浄水場^{*}シーケンサの交換修理及び北部簡易水道配水管布設替工事等による増額。

令和元年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

総額 74万8千円を増額

3億3668万8千円
人件費の増額。

令和元年度介護保険特別会計補正予算(第1号)

総額 383万4千円を増額

8億1962万2千円
前年度の地域支援事業交付金の精算に伴う返還金等を増額。

令和元年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

総額 12万円を増額

8245万8千円
低栄養防止・重症化予防事業の実施に伴い、看護師1名を雇用する人件費等を増額。



東部浄水場

^{*}シーケンサII東部浄水場設備の各装置の運転順番を統制して、スムーズな稼働をコントロールするコンピューター装置。

みなさんからの請願・陳情

自 令和元年5月29日 至 令和元年8月26日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者の住所・氏名	紹介議員名	付託委員会	審議結果
11	R元. 5.29 (郵送)	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	埼玉県川越市仙波町2-17-34 日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 寛			配付のみ
12	R元. 6.18 (郵送)	東海第二原発の再稼働に反対し廃炉を求める要請	東京都新宿区四谷本塩町4-15 原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟 会長 吉原 毅			配付のみ
13	R元. 8.26	貝野瀬池原地内の村道「池替戸線道路排水改良工事」を求める請願書	貝野瀬区代表区長 今楯憲雄 (滝久保区長) 池原区長 根岸啓之助	横坂末吉 林 幸司 林 勝美	文教産建	採択

提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		沢浦典子	林勝美	倉沢つかさ	阿部孝司	片柳悦夫	高橋隆雄	林祐司	藤井貞充	加藤生	林幸司	横坂末吉	永井一行
第3回定例会(令和元年9月4日~13日)													
承認第8号	専決処分事項の承認を求めることについて(令和元年度昭和村一般会計補正予算(第2号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	昭和村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	昭和村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	昭和村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	昭和の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	令和元年度昭和村一般会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	令和元年度昭和村簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	令和元年度昭和村農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	令和元年度昭和村介護保険特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和元年度昭和村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	昭和村印鑑条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	平成30年度昭和村一般会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
認定第2号	平成30年度昭和村国民健康保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	平成30年度昭和村簡易水道事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	平成30年度昭和村農業集落排水事業特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	平成30年度昭和村介護保険特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	平成30年度昭和村後期高齢者医療特別会計歳入・歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全員協議会

7月・8月・9月に開催した全員協議会での主な協議内容は以下のとおりです。

7月26日

地域おこし協力隊

公募により7月1日付で委嘱された増田武虎氏の紹介がありました。現在、道の駅あぐりーむ昭和にて勤務、活動しています。

ふるさと納税返礼品費の増額

返礼品事業において、楽天に出していた「バルミューダの扇風機・電灯スタンド」に5月中旬から寄附が集中したため、消耗品費や取扱手数料の予算が不足することから、専決処分したい旨、説明を受ける。



永井地区鳥獣害防止フェンス修繕

6月21日から22日の集中豪雨により、鳥獣害防止フェンスが土砂で破損したことから、修繕費用について専決処分したい旨、説明を受ける。



集中豪雨に伴う被害状況報告

6月21日から22日の集中豪雨による被害箇所の対策状況報告を受けたが、早急な対策を講じるため、工事費等について、専決処分したい旨、説明を受ける。



8月23日

子ども・子育て支援法の一部改正に伴う保育料の無償化

子育て世帯の経済的負担を軽減するため、10月から3歳児以上の利用料が無償化となる。また、住民税非課税世帯は、3歳児未満の利用料も無償化になる旨の説明を受ける。

村道柏坂ノ上柏坂ノ下2号線道路維持工事

平成29年9月から通行止めとなっているが、本道について、擁壁が崩落した場合、農業集落排水の本管が埋設されており、与える影響は大きいと考えられ、県道や周辺の畑や山林に被害が発生することも想定されることから、通行できるよう早急に復旧工事を実施するため、9月補正により予算を計上し対応したい旨の説明を受ける。



9月11日

地方創生事業の報告

地方創生事業は、平成28年3月に策定した「昭和村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき実施した農産物の販路拡大を目指すため、農産物の海外輸出に取り組んだ事業となっています。

この事業は、「昭和村農産物等輸出促進協議会」が主体となり、昭和村、群馬県、前橋市、高崎市との協働チームにより、付加価値創出・海外販路開拓に取り組む、国の補助事業である「地方創生推進交付金」を活用して行っているが、現地調査、輸送試験、商談会など、取り組みを行った事業について報告がありました。

株式会社あぐりーむ昭和の経営状況

第3期「平成30年度」決算等の経営状況と事業の執行

問

昭和村では、体育協会には表彰規程があり、社会体育の発展に寄与した人や県大会以上で活躍した競技者を体育功労者、優秀競技者、優良競技者として、村民運動会やピンポンフェスティバルの席上で、協会表彰を行っています。文化協会には表彰規程がありません。文化協会も同様に表彰規程を作り、様々な分野で活躍している村民を表彰していただきたいが、考えを伺いたい。

答

文化・芸術活動は、豊かな心を育み、人々に喜びや感動を与え、地域の活性化にも繋がるものです。
昭和村第5次総合計画の中でも、郷土芸能の保存・継承や、文化・芸術活動の支援を施策の方針としています。文化協会において、優れた文化・芸術活動の普及発展に功績のあった方々や団体を表彰する規程の制定に向けて準備を進めたいと思います。

その後

昭和村文化協会表彰規程

昭和村文化協会は、昭和村芸術文化の普及及び発展に貢献した功労者及び他の模範となる功績を残した芸術文化功労者に対して表彰を行う。

(表彰者の決定)

第1条 表彰者の決定にあたっては推薦委員会を設け、表彰基準に基づいて厳正かつ公平な立場において審査し決定する。

2 推薦委員会は、昭和村文化協会会則第6条に規定する役員のうち、会長、副会長、書記、会計、監事をもって構成する。

3 年間表彰者は、3名以内とする。

(被表彰者)

第2条 被表彰者は、次の各号に該当する者をもって有資格とする。

- (1)昭和村在住者又は出身者であり、特に昭和村芸術文化の普及振興に功労のあったもの。
- (2)表彰基準に該当することはもちろん、社会人としての信頼も深く、他の模範となるような活動をしているもの。
- (3)功績の内容が表彰や利害を直接の目的にしていないこと。
- (4)本協会の発展に大きく貢献したもの。

(表彰基準)

第3条 被表彰者は、次の各号のいずれかに該当する者をもって有資格とする。

- (1)本村の芸術文化向上に10年以上の功労があつて、かつその活躍が顕著なもの。
- (2)現在も芸術文化を熱心に指導しているものであること。
- (3)昭和村文化協会発展のため、多額の金額及び施設、設備物品等の援助、寄付したものの。
- (4)個人または団体で、村または昭和村文化協会が認める団体を代表し、県単位の展覧会入賞、全国単位の展覧会入選のもの。
- (5)その他、特に会長・副会長が認めたもの。

附 則

この規程は、平成30年4月24日から施行する。

文化協会にも表彰規程を

(平成29年12月定例会一般質問)

追跡シリーズ

34

あの問題は

今

議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。



平成31年3月に行われた芸能祭での席上で3名を表彰

総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

空き家対策、民泊・農家レストラン視察

9月9日に、総務民生常任委員会を開催し、平成30年度決算、その他所管事務について担当課長・係長へ質問をし、協議しました。協議後は甘楽町へ移動し、空き家対策事業の一つ「The Hotel 甘楽」及び「農家レストラン」の視察を行いました。

The Hotel 甘楽 から 甘楽亭

甘楽町では、町が抱えている課題をあげ、その解決に向けてのプロジェクトを立ち上げました。課題の中の「空家の増加」、「宿泊施設が足りない時期がある」などの課題に対し平成28年、「The Hotel 甘楽」プロジェクトで町全体が一つのホテルに「構想がNPO法人自然塾寺子屋から提案され始動、平成31年に甘楽亭営業開始となりました。

甘楽町は、「甘楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の住みたい・住み続けたい地域戦略の空き家対策事業

として位置付け、地方創生加速化交付金事業としました。必要予算の決定、町営としての施設管理の検査、法令による、工事、用途変更の手続き、設置管理条例の制定などに、3年間という時間を要しました。

甘楽亭は、平屋建、広々とした室内と日当たり抜群な縁側、広々とした居間、和室、キッチン、浴室、調理器具も完備され、どこか懐かしい趣のある古民家です。利用した方からは、「家族、グループで利用しやすい」、「料金が手ごろ」、「周遊観光の拠点」と好評で、リピーターも増えているようです。

御殿前レストラン プレトリオ

町の課題である「食事処が少ない」、「観光滞在時間や回遊性を増やす」などの対策として、町所有の空き家を農家レストランとして営業しています。

以前は、個人所有の家を町が所有し、学童保育などに利用していましたが、地元農産物の消費拡大や食事提供機能の選択肢となる新たな拠点として整備されました。

甘楽町は、イタリア、チェルタルド市と友好都市として交流をしています。甘楽

町の地元食材と、イタリア料理のコラボレーションが楽しめます。レストランの近くには「名勝、楽山園」、「甘楽総合公園」などがあるため、観光滞在時間は長くなり、町の課題は解消されます。

2ヶ所の施設を視察し、まずは、町の抱えている課題をあげ、それを解消するための施策を考え、事業の立ち上げ、実現に向けての道のりは長いですが、課題を少なくしようとする町の動きは、昭和村としても参考になると思えました。



甘楽亭



プレトリオ



文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

請願1件を審査

貝野瀬池原地内の村道「池替戸線道路排水改良工事」を求める請願書を審査

9月10日に、文教産建常任委員会を開催し、請願箇所について現地調査を行い、その後、審査を行いました。

当該村道は、一旦大雨が降ると、柏坂ノ下神原線や



清水岡替戸線等に降った雨が池替戸線に集まり、農地や民家の土蔵に雨水が流れ込むため、土嚢袋を積むなどの対応はしているが、被害を最小限に抑えるよう、早期に対処すべきとのことから、全会一致で採択しました。

白根開善学校を視察

全寮制の私立中学・高等学校（全日制課程普通科）で、現在34名の生徒と教員16名で共同生活をしている。

人里離れた山奥にあり、「人はみんな善くなろうと

している」を教育理念に、簡素な生活の中に、高貴な精神を培うことを考えて、一人ひとりの可能性を信じ、自分のやりたい事をみつけチャレンジをさせる教育。また、特別支援教育にも6名の教諭が取り組んでいる。



白根開善学校全容

望郷ライン沿いの電柱の地中化について



林 勝美 議員

村長 多額な費用を要することから
難しいと考える

問

ビューポイントからの景観は素晴らしいですが、一部電柱が景観を損ねている所があります。村長の考えをお聞きしたい。

答 村長

望郷ラインは、周囲の山々と広大な農地が調和した景観を有し、ビューポイントから谷川岳方面を望むと良好な景観を築



望郷ライン

しめる他フォトスポットとしても人気の場所となっておりますが、赤城山方面の通りには観光トイレ用の電気のための電柱が設置されています。この電柱がなければ、景観的にも素晴らしい場所になると思いますが、無電柱化には大変な費用を要する事から難しいかと考えますが、予算等都合がつけば検討してまいりたいと思います。

観光トイレの維持管理について

問

村内の観光トイレは、村の福祉作業所と契約して週3回清掃を行っていただいております。私の提案です。トイレ清掃の専門家を招いて、掃除のノウハウを教えてください。実際の清掃にいかしていただければグレードの高い観光トイレになると思います。村長の考えをお聞きしたい。

また、観光トイレの1ヶ所では、赤城西麓の用水を利用して流していますが、飲料水を提供できるような計画はあるのか伺いたい。

答 村長

村内5ヶ所の観光トイレの清掃は北毛清流会に委託しており、毎回非常にきれいに清掃していただいているので、専門業者からの指導機会を設ける予定はございません。また、当時は、中野か

ら水道を引くには多額の費用がかかるため、近くに来ている水をうまく利用できたということ、あの場所に観光トイレができたように承知しております。その水が将来何とか飲める水に改善できる方法があればと思っておりますので、また何か機会あるごとに調査をしていきたいと思っております。



観光トイレ



倉沢つかさ 議員

マイナンバーカードを使った コンビニ交付は

村長 取得率が上がれば
住民ニーズに応えるよう取り組む

本年8月15日現在、全
国1741自治体のうち、

答 村長

問 マイナンバーカードを利用して市町村が発行する証明書が、全国のコンビニなどで取得できるサービス、コンビニ交付について、現時点では昭和村は、サービスを提供できない市町村の一つとなっています。マイナンバー取得のメリットであるコンビニ交付をしていないのは、なぜか。また、今後このサービスを提供する予定はあるのか伺いたい。

631市町村がコンビニ交付を導入しています。県内では、前橋市、高崎市、伊勢崎市、富岡市、沼田市、玉村町の6市町がシステムを導入し、23市町村が導入を見送り、サービスを提供していません。システム導入には、多くの費用がかかるなどの課題があり、未導入となっています。昭和村民のカード取得率はかなり低い状況にありますが、将来取得率があがれば、他市町村の動向を注視しながら、村として、マイナンバーカード取得のメリットを活かせるように進めていきたいと思えます。

2020年の教育改革は、これから変化の激しい時代を生きる子供たちが、社会の中で活躍できる資質や能力を育成することを目的とした改革です。プログラミング教育は、既存の教科の中で問題解決に必要な手順があることに気づくなど、基礎的なプログラミング的思考を養うことを主目的に授業を行います。

答 教育長

問 2020年4月
は、未来を見据えた教育の大改革のスタートとなります。英語教育では、小学3、4年生で外国語活動、5、6年生で教科の開始です。また、小学校では、プログラミング教育が必須化されます。教育改革を前に昭和村としてどのように進めているのか、説明をお願いしたい。

昭和村の各小学校でスムーズに進められるように、県の出前講座やプログラミング教育を研修するため、県総合教育センターへ1名1年出向しています。現在、プログラミング教育の実施に向けて、学校と連携を図りながら計画的に研修、教材を準備し、魅力あるプログラミング学習を推進していきたいと考えています。



2020年4月から始まる教育改革について



加藤 生 議員

農業用廃ポリ等の処理は

村長 適正処理に努める

問

農業用廃プラスチック適正処理事業では、村ではkg当たり8円の補助を行っているが、現状のまま続けているのか、それとも国や県に働きかけて、廃ポリを燃焼させながら畜産の牛糞も処理出来るような恒久的な設備を造る考えはあるのか伺いたい。

答 村長

農業用廃プラスチック類は産業廃棄物であり、排出業者の自らの責任に於いて処理する事が義務づけられています。利根沼田農協を中心とする昭和村農業用廃資材等適正処理推進協議会経由での処分となり適正処理に努めています。恒久的な処理施設等を整備することは、今後の国の動向を注視し考え、また、生分解マルチなどにも期待したいと思っております。

問

農業が基幹産業の本村です。是非とも村長が自ら村の農業の現状を、国や県に訴えていただき処理をする方法を考えて頂きたい。

答 村長

直接県に出向いて、私の方から全部説明をさせてもらうことになっていきます。また、これまでの農業用については、産業廃棄物と言うことで、村が単独で補助を行ってききました。利根沼田の地域でもそれぞれ補助金の額は若干違いがあるが、協議会ができており処理については一つの方法かなと思います。ですが、最近廃プラスチックの輸出が止まったという事で国内での処理が余儀なくされています。村で出したものは、村で処理をしなければならぬという思いがあります。また、要望活動はして行きます。



管理された廃プラ



放置された廃プラ



藤井 貞充 議員

6月21日発生 の集中豪雨について

村長 住民行政が一体となった 災害対策に取り組む



赤城原地内

6月の集中豪雨では、畑の他道路の崩壊、崩落など大きな被害が出ました。これから台風シーズンを迎えるわけですが、国の避難勧告等に関するガイドラインが改定され、住民が理解しやすい5段階の警戒レベルへの発令と変わりました。自主防災組織の設立支援、消防団員等による避難誘導など、住民行政が一体となった災害対策に取り組んでまいります。

自主防災組織については、現在3組織が設立されています。今後とも防災組織が立ち上がるよう、全面的に支援してまいります。

答 村長

問 6月21・22日、集中豪雨が降りました。綾戸で109mm、道の駅あぐりーむ昭和で81・5mmと雨量計に出ています。コンニャク畑や野菜畑で大きな被害が出てしまいました。

村では、災害マップを配布、避難所の指導等々準備をしていますが、村民の理解が大切と思うが村長の見解を伺いたい。また、自主防災組織は、今いくつ組織されているか伺いたい。



赤城原地内

問 30年近く経過した赤城西麓土地改良事業で、当時の計画では40年に一度の大雨に対応出来るように計算していると聞いておりましたが、最近では、数年に一度大雨が降っていると感じます。水路兼道路も随所にひび割れが発生し、被害を受け易くなっていますが見解をお聞かせください。

答 村長

近年全国的な傾向として、局地的な大雨の発生頻度は高まっていると感じられます。多くの路線でひび割れが発生しており、このひび割れから浸水被災したと思われる。これから、専門業者等の意見を伺いながら対応を検討してまいります。

30年が経過した赤城西麓土地改良事業について



阿部 孝司 議員

人口減少と少子化について

村長 総合戦略に基づき事業を
継続して取り組むことが必要



新婚さんの新生活を支援

問

人口については、毎年ゆるやかであるが減り続けています。減少を少しでも小さくして行く事が重要だと思いが、村長はどの様な対策をお考えか伺いたい。また、少子化についてですが、今年の入園、入学生の少なさに驚きました。早急に取り組まなければならないと思いますが、村長の考えをお聞きしたい。

答 村長

平成28年3月に「昭和村まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。
单身男女の出会いの場を提供する婚活イベントの開催、若い世代の結婚を後押しするための「結婚新生活支援事業補助金」の創設、不妊治療費補助や産後ケア事業など、人口減少、少子化対策に取り組んでおり、切れ目なく継続して取り組んでいくことが必要であると考えています。

役場の駐車場について

問

役場新庁舎建設場所が現在地に決まりました。将来やさまざまな事を考えると、駐車スペースが少なくて困ると思います。



近隣で駐車場用地取得を考えたらどうかと思いますが、見解を伺いたい。

答 村長

現在役場庁舎については、昭和村新庁舎建設委員会にて意見交換が行われています。この委員会で、今後庁舎の基本構想及び基本計画を策定し、庁舎の設計を行う事業者を決定していきますが、その設計業者が庁舎及び駐車場等の配置についての提案を行い、決定するものとしております。

次期村長選について

問

来年5月に予定されている村長選について、堤村長は3選を目指しますか伺いたい。

答 村長

現在2期目で、任期は令和2年5月30日までとなっております。来年5月に予定されています村長選3選への出馬につきましては、現在、考え中でありまして、ご理解をいただきたいと思います。



林 幸司 議員

18歳(高校卒業)まで 医療費無料化を

村長 他町村と連携して国・県に要望し
村としても考えていきたい

問

18歳までの無料化は、10年前の2町村から現在は586市区町村にまで広がりましたが、15歳までと合わせると96%にもなりません。

18歳まで拡充するのに必要な予算額は、来年度より実施するよう求める。国の制度となるよう尽力を求めます。

答 村長

県内8町村が18歳まで無料化しています。

本村では入院通院合わせて年1千100万円程が必要となります。

今後、しかるべき時期に対応していきたいと思えます。

他町村とも連携しながら、国や県にも要望し、その上で村としてもできることがあれば考えていきたいと思えます。



◆10年前との無料化比較(市区町村数)

- ◎小学校就学前まで 980 ⇒ 7
- ◎15歳年度末まで 345 ⇒ 1082
- ◎18歳年度末まで 2 ⇒ 586



公の施設利用 廃止条例の制 定を

問

重要な公の施設について、利用及び廃止に関する条例を制定し、保育園や小学校などの統廃合にあたっては、議会の特別多数(3分の2)議決を義務付けるよう求める。

答 村長

自治法に基づく条例制定は県内4市町のみであり、財産処分として(過半数)議決をお願いしたい。

統廃合などは、住民への説明責任を果たし、議会と十分協議し、村の総意として決めて行きたいと考えています。

日米貿易協定 に反対を

問

飢餓人口は8億人、9人に1人が飢えに苦しんでいます。日本が農畜産物を大量に輸入することは、途上国の食料を奪い、飢餓人口を増やすことでもあります。

答 村長

輸入自由化政策が食料自給率低下の最大要因であり、日米貿易協定に反対するよう求める。

自給率を高める政策を拡大するよう国に要望していきたいと考えています。農業が厳しい状況になるかもしれない日米貿易協定には反対します。

新議員研修会

6月24日、県市町村会館にて新議員研修会が行われ、昭和村議会の新人議員5人で研修して来ました。講師より議員とは、特別職の地方公務員であり、全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではないなどのお話があり、最後に議員活動は健康に留意して活動する事です。頑張りなさいとお言葉頂きました。



利根郡町村議会議員・事務局長研修会

6月26・27日みなかみ町にて開催。県町村議会議長会次長峯岸茂己氏ら3名の方々に講師に招き、峯岸氏からは議員のなり手不足の問題は、議員報酬の低さ、定数減少による当選ラインの上昇などが原因であるとお話がありました。

下草刈り・花植え

7月10日、午前は農業委員・さくら工房と運動公園内・望郷ライン沿いの下草刈り、午後は村づくり協力委員と運動公園南側入口付近の花植えを行いました。その後、議員・農業委員・村づくり協力委員の3者による意見交換会を行いました。



玉村町議会及び 取手市議会との交流会

7月13日、第31回を迎えた玉村花火大会に議員・村づくり協力委員等と訪れ、友好親善を深めました。また、8月10日には、第66回とりで利根川大花火を観覧し、みなかみ町議会とともに、取手市との相互交流事業に参加しました。

総務民生、文教産建常任委員会 合同視察研修

7月23日から25日まで、鹿児島県J A南さつまでは、地域団体商標の取得における取り組みについて、また、宮崎県高原町では、移住や日本で最も美しい村連合での取り組みについて研修してきました。



望郷ライン センチューリーライド

8月25日、昭和村総合運動公園を発着点として、1038名の参加者に自然豊かなコースを満喫していただきました。



聞きたい、知りたい みんなの声

若い力が集まる村に

林 まみさん



(生越)

子供たちの笑い声、駆け回る足音。家の横を通り過ぎる賑やかな音。「あれっ、子供がいる！」そんな些細な事が新鮮に感じてしまう
昨今。

4人の子供も成人し、子育てが一段落した時、ふと気付くと周りにいる子供の何と少ない事か。少子化を身近に感じた出来事でした。学生の時、昭和村在住の友人がいました。ある晴れ

「議会に望むこと」についての声を2名の方に届けていただきました。

た冬の日に「今日昭和村は雪がすごくて駅にたどり着くまで大変だった。」と言うのです。その頃の私は、昭和村ってどんな所？県北？くらいの認識でした。

しかしこの地に嫁ぎ、緑豊かな土地で子育てをし、今では良い所に住んでいるなあと思っています。それを若い世代にも感じてほしいと思います。少子化問題、嫁不足を解消するべく、村をあげて村と村の若者の魅力をアピールする機会を考えていただきたいと願っております。



魅力ある村づくりのために

諸田 顕さん



(入原)

長男が小学校2年生の時から始めた少年野球では、野球チームを通じた付き合いで、保護者や関係者と親しく楽しい時期を過ごさせてもらいました。仕事を続けながら大変なこともありましたが、みんなで助け合いながら親子ともども成長させていただきました。

交通指導員を引き受けたとき、未熟な私は役場の職員や地域の人に助けられ職務を遂行しました。交通指導員になり村を見させていだき、村の行事の成功や子供たちの安全に多くの人々が関わっていることを改めて知りました。子供の安全のために標識の設置の要望をした時はすぐに叶えていただき、村民の声を大

切にする村政であると大変感謝いたしました。

こうした経験を通じて昭和村は地域の協力や助け合いがとてもよくできている村であると感じました。

個人的には、料理が好きで蕎麦やうどん昭和村の野菜を使った料理をよく作ります。地元でとれた新鮮な食材を調理するととても美味しくいただけます。

地域の協力や助け合いが進んでいるのは、昭和村でおいしい野菜を作っている農家の方が率先して活躍しているからだと思っています。

魅力ある村づくりのために、農家の方が効率的に農業できる政策や、若い人が農業に興味を持てるような収入が確保できるような政策が必要だと思っています。

私は波川から昭和村に来て27年経ちます。昭和村の農業が発展する事は地域の協力や助け合いが進んで、より魅力のある村になる事だと思っています。

いま、日本中で多くの問題を抱えています。解決のキーワードは助け合いだと思います。



地域でがんばる人



川龍寺副住職 河野 太一さん



(滝久保)

結婚と同時に
出家する意志を
伝えた時「お前
なんかにお坊さ
んが務まるの
か。」と実父に言われ返す言葉もなかった。

そんな私もご縁が整い、昭和村に移り住み七年が過ぎた。僧侶の役割といえば法事が代表されるが、心穏やかに過ごす仏様の教えを伝える事も大切な役割である。…と言ってもどのような機会を作り伝えるのか。模索しつつ始めた事の一つが和讃の会だ。解りやすい歌詞で仏様の教えを歌う仏教の讃美歌である。ご縁も広がり昭和村芸能祭にも出演させて頂いたお蔭で、知って下さる方も増えてきた。

「ご縁は生き物」と言う。頂いたご縁を活かすも殺すも自分次第。選んだ道を後悔しない様、猪突猛進である。

あの時、言葉を返せなかった父に今なら自信を持って言える。「僧侶になって良かった。務まる様に努めるよ。」と。



和讃を唱える

議会を傍聴してみませんか？



昭和村議会では、村民のみなさんの生活に直結した、重要な問題などを審議しています。

次回の定例会は、12月を予定しております。

是非、傍聴してみてください。お待ちしております。お問い合わせは議会事務局まで
(☎24-5111)



編集室から

天候不順があたり前の天候に変わってきています。6月末の集中豪雨では、本村でも農地や農道に甚大な被害をこうむりました。

さて、9月議会定例会も無事終了し、ちょっと一息といたい所ですが、いろいろな行事も立て込み忙しい日々が続きます。

皆様秋本番 収穫の秋を迎え、益々忙しくなると思いますが、どうぞ健康に留意され日々の仕事に精を出してください。

林 勝美 記

議会広報編集特別委員会

委員長 高橋 隆雄

副委員長 阿部 孝司

委員 片柳 悦夫 林 勝美

沢浦 典子 倉沢つかさ

横坂 末吉 永井 一行

